



報道関係各位

2005年7月12日

## 携帯電話向けコンテンツ特化型分散高精度音声認識システム 『AmiVoice® DSR for Mobile Contents』のサービスを開始 ～モバイルコンテンツの操作性を飛躍的に向上させるソリューション～

株式会社アドバンスト・メディア 東京都豊島区、代表取締役社長：鈴木清幸、以下アドバンスト・メディア は、携帯電話コンテンツに音声認識機能を付与できる『AmiVoice® DSR for Mobile Contents』のサービスを開始します。すでに販売されている本体のみで音声認識を行う携帯電話では不可能であった、高精度大規模語彙の音声認識を可能とし、本サービスを利用したコンテンツを作成することにより、携帯電話に向かって話すだけで、住所/駅名/ランドマークなどがコンテンツに入力できるようになります。『AmiVoice® DSR for Mobile Contents』は、コンテンツの付加価値を飛躍的に向上させるサービスです。

『AmiVoice® DSR』は、携帯端末に当社が開発した AmiVoice® DSR Client、サーバ側に AmiVoice® DSR Server を実装して分散処理を行うことで、携帯電話に負担をかけずに、高精度大規模語彙の音声認識を実現するシステムです。

今回サービスを開始します『AmiVoice® DSR for Mobile Contents』は音声認識機能の ASP サービスで、当社が運用する AmiVoice® DSR Server を、コンテンツプロバイダ様に利用していただくサービスです。コンテンツプロバイダ様は、AmiVoice® DSR Client を組み込んだクライアントアプリを作成するだけで、エンドユーザに対して音声認識機能を利用したコンテンツ提供が可能になります。

### 【AmiVoice® DSR とは】

DSR(Distributed Speech Recognition 分散音声認識)は音響分析部だけをクライアント(携帯電話等のモバイルデバイス)サイドに搭載し、メインの認識処理部分はサーバサイドに置くことで、センター型高精度音声認識システムを実現するものです。

DSR では、音声そのものではなく約 1/30 に圧縮された、音声認識に必要な十分な声の特徴データのみを送信します。音響分析処理は、20MIPS 程度の負荷しか端末に要求しません。

特徴データはコンパクトで、8kbps 程度の通信速度であっても、ほぼリアルタイムに音声認識が行えます。データ通信時は TCP/IP を使用しますので、これまでの通話をつかった音声認識とは異なり、データ紛失などによる音質の劣化などがまったく発生せず、高精度の音声認識が可能になります。

また、サーバに音声認識データ(言語モデルおよび辞書)を持ちますのでメンテナンスが容易になり、非常に大きな辞書(5万語以上)、言語モデルを複数動作させるようなアプリケーションも実現できます。

### 【サービスの概要】

#### 『AmiVoice® DSR for Mobile Contents』

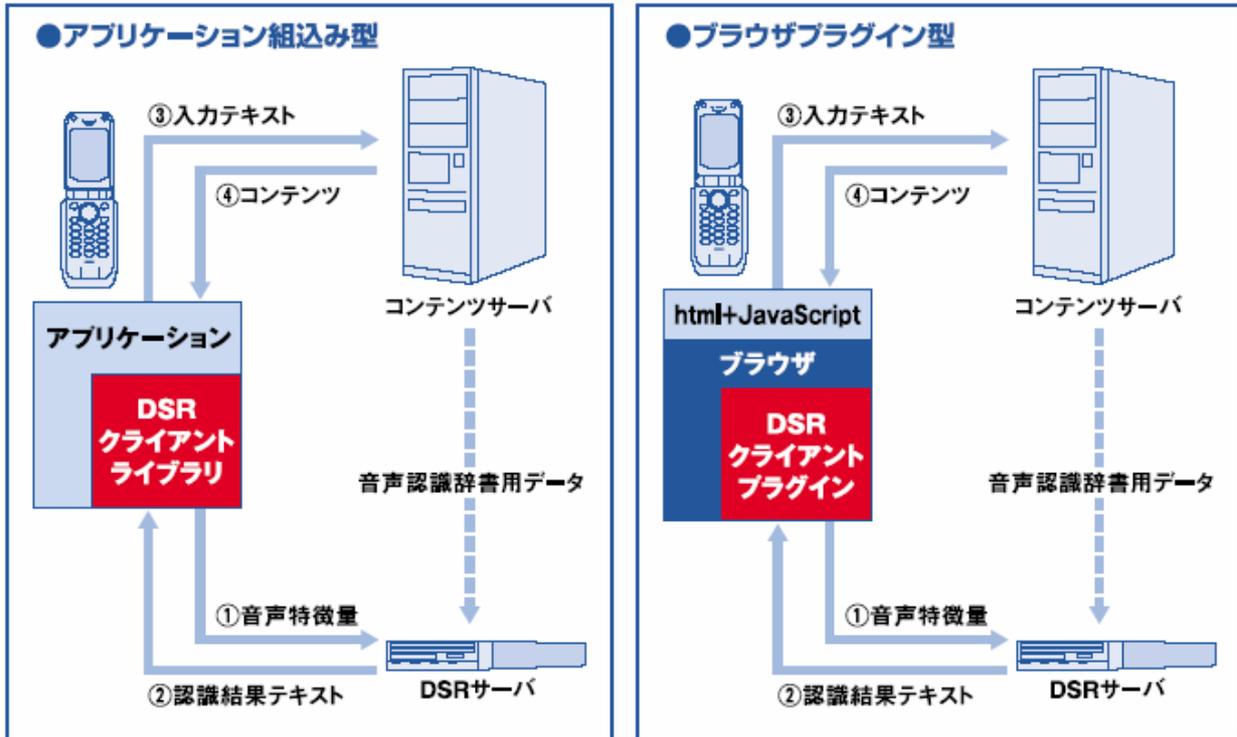
今回発表した製品は、AmiVoice® DSR を、携帯電話のコンテンツプロバイダ様に利用していただくためのサービスです。従来のようなコンテンツプロバイダ様自身による、サーバの設置/運用は必要なく、当社にて、設置/運用をいたします。課金につきましても、エンドユーザ様に当社が直接課金することではなく、コンテンツ、サービスを提供されるコンテンツプロバイダ様に対して、定額の利用料をご負担いただけます。

このことにより、コンテンツプロバイダ様は、低い初期投資額と、定額の運用コストで、音声認識機能を利用したコンテンツを提供することが可能になります。

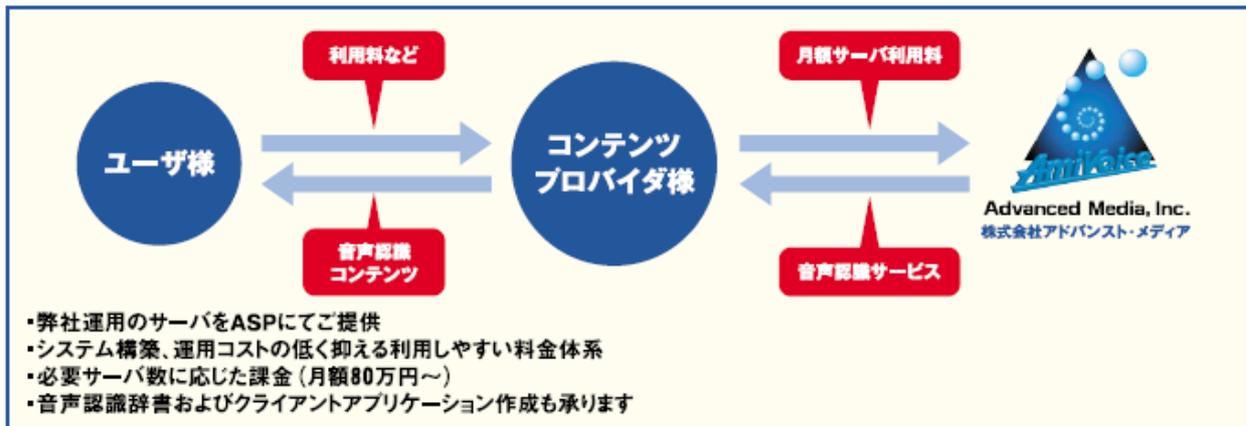
『AmiVoice® DSR for Mobile Contents』を利用することにより、操作が難しいダイヤルキー入力の代わりに音声入力を使用できるようになりますので、簡単で、素早く、楽な操作が実現し、コンテンツのユーザーインターフェースが飛躍的に向上します。

また、従来の携帯電話上で利用できるコンテンツは、キー入力が極力少なくなるよう設計されており、それが、ひとつの制約となっていました。その制約をはずせる高精度大規模語彙の音声認識の活用が、携帯電話コンテンツの可能性を広げ、さらには、これまでになかったような携帯電話コンテンツを出現させることが可能となります。

「AmiVoice® DSR for Mobile Contents」の仕組み



「AmiVoice® DSR for Mobile Contents」のビジネスモデル



クライアント携帯電話

NTT DoCoMo FOMA® M1000

対応機種

Vodafone 702NK

順次拡充予定

## 会社概要

### 【株式会社アドバンスト・メディア 会社概要】

社 名 : 株式会社アドバンスト・メディア  
代 表 者 : 代表取締役社長 鈴木 清幸  
本 社 : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 48 階  
U R L : <http://www.advanced-media.co.jp/>  
設 立 : 1997 年 12 月  
資 本 金 : 30 億 0,375 万円  
事 業 内 容 :  
・AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューションサポート事業」  
・「ソリューションサポート事業」で掘り起こされた市場のニーズに適合するパッケージ商品をライセンスとして提供する「ライセンス事業」  
・当社自身が AmiVoice を使い、企業内のユーザや一般消費者へサービス提供を行う「サービス事業」

### アドバンスト・メディアについて

アドバンスト・メディアは、独自の技術による日本語連続音声認識システム **AmiVoice**®を開発し、“声”で文章入力などができる各種ソリューションを提供してきました。**AmiVoice**®は不特定話者に対応していますので、利用者毎に声の事前学習(エンロールメント)を行うことなく、すぐに音声入力できます。特に医療分野においては、導入施設が700を超えるまでとなり(2005年5月現在)、医療診断の効率化に貢献しています。

### 本件に関するお問合せ先

#### 【製品に関するお問合せ】

株式会社 アドバンスト・メディア ソリューション営業部 : 板鼻 弘太郎(いたはな こうたろう)  
TEL:03-5958-1091 FAX:03-5958-1033 Email:itahana@advanced-media.co.jp

#### 【報道関係のお問合せ】

株式会社アドバンスト・メディア 経営企画部 広報・IR 室  
TEL: 03-5949-2007 FAX: 03-5958-1032 E-mail: press@advanced-media.co.jp

**AmiVoice**、およびロゴマークは(株)アドバンスト・メディアの登録商標です。  
記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。